

参考資料

(本書は米国時間 2014 年 1 月 24 日に米国で発表済みの英文プレスリリースの和訳です)

2014 年 1 月 27 日

アフラック日本社の日本における代表者・会長であるチャールズ・レイクが アフラック・インターナショナルの社長を兼務

Aflac Incorporated は、アフラック日本社の日本における代表者・会長であるチャールズ・レイクについて、アフラック・インターナショナル・インコーポレーテッドの取締役社長に任命することを 2014 年 1 月 24 日付(米国時間)で発表しました。

なお、レイクは今後も、アフラック日本社の日本における代表者・会長の職責を担います。

以下は、Aflac Incorporated が発表した英文プレスリリースの和訳です。

ジョージア州コロンバス / -- Aflac Incorporated(以下、「当社」)は本日、チャールズ・レイクを当社の完全子会社であるアフラック・インターナショナルの取締役社長に任命したことを発表しました。レイクは当社会長兼最高経営責任者(CEO)のダニエル P. エイモスの直属として、金融安定理事会(FSB)や保険監督者国際機構(IAIS)などの国際基準設定機関を含めた国際公共政策における新たな取り組みに対応するための戦略立案と実行についての責任を負います。レイクは 2008 年から務めているアフラック日本社会長の職責を引き続き担います。

レイクは、プロフェッショナルとしての約 30 年に及ぶ経験を生かしてこの新たな職責を担います。レイクは 1999 年 2 月にアフラック・インターナショナルに、同年 6 月にアフラック日本社に入社しました。2001 年の副社長、2003 年の社長就任を経て、2005 年に副会長に昇格し、2008 年に会長に就任しました。約 15 年にわたるアフラックでのキャリア以前は、ワシントン D.C. の法律事務所に弁護士として勤務、それ以前は米国大統領府通商代表部(USTR)にて日本部長や法律顧問を歴任しました。

レイクについて、エイモスは次のように述べています。「レイクがこの職務に最も適した役員であるのは、彼がアフラックの中核事業について幅広い知識をもち、国際経済政策の経験も豊富だからです。レイクはきわめて優れたリーダーであり、内外から高い評価を得ているプロフェッショナルです。この拡大した新しい役割を通じて、あらゆる国際的な課題に関してグローバルに当社を代表し、優れた実績を生かして更に活躍してくれるものと期待しています」。